

# 各務原市まちづくり活動助成金

# 令和 6 年度交付事業報告集

令和7年度交付事業一覧も掲載しています。



当報告集は、ウェブページからもご覧いただけます。



各務原市 市長公室 まちづくり推進課

〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69 TEL:058-383-1997

E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

# 令和6年度交付事業

スタート助成1年目(NO.1~2)			
No	事業名	分野	団体名
1	ふれあい夏まつり事業	まちづくりの推進	ふれあいまつり実行委員会
2	各務原狂言囃子の会事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	船出の会
スタート助成2年目(NO.3)			
3	防災連絡協議会事業	災害救援活動	川島防災クラブ
まちづくり助成1年目(NO.4~6)			
4	各務原市立那加中学校ビオトープ再整備事業	社会教育の推進	つゆ草の会
5	写真展「鵜沼」—空中歩道・鵜沼地区の活性化を目指して事業	まちづくりの推進	住みよいまちづくりを考える会
6	対話の本質を探り コミュニケーション力を高める事業	子どもの健全育成	岐阜友の会
まちづくり助成2年目(NO.7~12)			
7	いのちのつながりフェス事業	子どもの健全育成	性教育団体「いのちの授業」 ここいく
8	おいしく食べていっぱい遊ぼう事業	子どもの健全育成	結愛ポート
9	各務原映画祭事業	観光の振興	各務原映画祭実行委員会
10	地域の伝統芸能和太鼓の継承と 地元愛の育成事業	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	各務原太鼓保存会
11	住民が取組む避難所立上げ手順 確認事業	災害救援活動	八木山自主防災会
12	大規模災害時における避難行動 要支援者に対する避難支援訓練事業	災害救援活動	鵜沼南町自主防災組織

当事業報告集は、市ウェブサイト([www.city.kakamigahara.lg.jp](http://www.city.kakamigahara.lg.jp))からも  
閲覧・ダウンロードすることができます。

ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動 >  
まちづくり活動助成金 > 令和6年度助成交付事業 > 令和6年度助成交付事業報告



## 各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成金は、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進と NPO や市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

## まちづくり活動助成金の種類・条件等

助成実施期間		助成対象年度 4月1日から3月31日まで			
助成金種類		スタート助成金		まちづくり助成金	
		■設立後3年未満の市民活動団体 ■団体の設立及び自立を目指す		■設立後3年以上の市民活動団体 ■課題解決する団体への更なる成長を目指す	
		1年目	2年目	1年目	2年目
助成金額	助成率①	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内	助成対象経費の2/3以内	助成対象経費の1/3以内
	限度額②	100,000円	50,000円	300,000円	150,000円
	持出し額③	(総事業費)-(事業実施に伴い得られる国・県補助金、利用料金、その他収入合計)			
	①～③の金額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)				
審査	書類提出	○	○	○	○
	公開プレゼンテーション	○	○	○	○
報告	公開報告会	○	(注)	○	(注)
	実施報告書類	○	○	○	○

- 申請は、年度内に1団体1事業1回まで、同一事業での申請は2年度(回)までです。
- この助成は2年目の交付を保証するものではありません。2年目の交付を希望する場合、再度申請が必要です。当該助成事業の終了した年度の翌年度は、別事業であってもまちづくり助成金の申請はできません。  
(注)当年度1年目の公開報告と、翌年度2年目の公開プレゼンテーション審査を兼ねたものです。

## 【参考】令和7年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 応募・審査の流れ	
令和6年10月5日	助成金説明会
令和6年10月7日	応募受付開始
令和6年12月26日	応募書類受付締切
令和7年3月15日	公開報告会・審査会 (プレゼンテーション)
3月31日	採択・不採択連絡

まちづくり活動助成金 申請・交付決定後の流れ	
令和7年4月	交付申請・交付決定・交付事業開始
令和7年11月	中間報告書類提出
令和8年2月	実施報告書仮提出
令和8年3月	公開報告会・審査会 (プレゼンテーション)
	実施報告書提出

※助成金説明会・応募書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。







## 助成事業名

## 各務原市立那加中学校ビオトープ再整理事業 (まちづくり助成1年目:つゆ草の会)

## 事業概要

平成16年4月に竣工した「那加中ビオトープ」が数年間は学校・地域の力により整備・維持されてきたが、その後、放置され“ジャングル化”したものを、学校・生徒・地域住民と連携をしつつ再整備し、地域の「憩いの空間」造りを目指す。

## 実施内容



## 1. ホタル、合鴨の飼育 (那加中学校ビオトープ「那加庭」)

- ホタル幼虫放流 500匹、合鴨披露 8匹、
  - ホタル観賞小屋設置 4/14~6/15
  - ホタル発生 5/18~6/6
- ホタル発生数: 約140匹 (小屋以外で直接確保数)  
+30~50匹 (推定 小屋内にて誕生した数)
- 来場者数: 約390名 (会員が確認できた人数)

## 2. 写真展開催

5箇所で写真展を開催し、ビオトープの存在と風景を周知した。

- ①産業文化センター21 プラザ 5/31
- ②市立図書館 6/19
- ③市低層棟 市民交流スペース 6/27
- ④那加中学校 6/24
- ⑤那加第三小学校 6/24

## 3. 植え付け、花壇・周辺整備の継続

- 夏の花 植え付け 6/15  
那加中学校生徒約55名と教職員の皆さんの協力あり
- 秋~冬の花・チューリップ 植え付け 10/19  
那加中学生・教職員その他“ふれコミ隊員”合流、  
合計約90名の協力あり

## 4. 七夕飾り付け

7/4 ビオトープ入り口付近に七夕飾りを設置した。  
那加第三小学校 全児童、那加中学校3年生と一部教職員の皆さんの“想い”を短冊に記入、飾り付け、設置を共に行った。  
メッセージ数 合計614通 (撤収時回収数)



-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

## 事業成果

## ①活動の認知度の向上

年間の事業活動を学校(保護者メール・ホームページ等)及び市まちづくり推進課(写真展示等)、広報課、自治会連合会(広報紙)等の協力を頂き、認知度を高めることができ、来場者の増加が認められた。

## ②憩いの場所の充実化

来場者の増加により、本来の目的の一つである地域の人々が花園やより充実した自然環境の中で“楽しみ・安らぎ”を享受できる憩いの場所となってきている。

## ③子ども達の人間形成への方向付け

この事業は多くの子ども達も参加し、地域のボランティア活動の人々と共に花・生物を育てることなどを通じ、ともすれば薄れがちな自然環境をより身近に感じながら、命の大切さ、そして優しい心を育み、思いやりの心を持てる人間形成につながるものと確信する。

## 収支報告

事業費総額 375,989円 / 助成金交付確定額 250,000円

## 助成経費内容

ホタル幼虫(400匹)、ホタル小屋、花苗各種、七夕用竹、七夕用短冊、土壌改良品、耕運機・草刈り機等燃料・修理費、園芸関連消耗品、写真コンテスト他イベント関連、合鴨飼育小屋資材、飼料 など





**助成事業名** 地域の伝統芸能和太鼓の継承と地元愛の育成事業 (まちづくり助成2年目:各務原太鼓保存会)

**事業概要** 日本の伝統芸能である和太鼓の文化を絶やさないよう、和太鼓の普及活動を行う。若い方も興味を持てるようなエンターテインメント性のある新しい曲を市民の皆様と作り上げる。

**実施内容**



**1. 「あかり」編曲・練習・披露**

令和5年度、市民の方と作曲した曲「あかり」を編曲し、会員で練習をして、地域の祭りなどで披露した。演奏の場には、昨年度作曲のワークショップに参加して下さったご家族もご招待をした。

編曲・練習： 5/11・12・19・25・26  
6/1・2・9・22・23・29・30  
7/6・7、9/7・8

披露： 7/28 かわしま燦々夏まつり (参加者14人+観覧者)  
9/14 ろっけん通り歩行者天国 (参加者45人+観覧者)

**2. 市内太鼓団体の紹介**

- 市内の他太鼓団体の方と繋がりを得て、各務原市内の太鼓団体についての情報を記載したチラシを作成した。
- 体験会などに参加した子ども達にチラシを配布し、和太鼓に興味を持った子供達が自分の条件に合った環境で、和太鼓に触れられるように取り組んだ。

**3. 太鼓メンテナンス**

「あかり」の編曲時、新たに締獅子のパートを追加し、締太鼓の数を増やして音量のバランスを取ることとなり、穴の開いた締獅子太鼓、締太鼓の皮の張替えを行った。

**各務原市内  
の  
和太鼓団体**

和太鼓をもっとたいてみたい！！  
だけど、毎週の練習参加は難しい、、、  
そんな方はぜひ！！

各務原市内には、当会以外にも和太鼓の団体さんがあります♪  
主に地域のお祭りで演奏されていますので、ご興味があれば連絡してみてください。

団体名	活動地域	活動内容	連絡先
三ツ池 やかた保存会	鶴沼地区	“三ツ池春祭り”での演奏とそれに向けた練習	会長 三品さん 電話：090-6460-0852
東町 宮太鼓保存会	鶴沼地区	宮太鼓・篠笛の継承保存。地元のお祭りなどでの演奏。	代表 池場さん 電話：090-1989-8825
小伊木崇敬会	鶴沼地区	地域のお祭りのお囃子の保存・継承。	担当 梶田さん 電話：090-4083-9876
山崎区 屋形保存会	鶴沼地区	屋形を引いて地域のお祭りで太鼓や笛の演奏。	担当 中川さん 電話：090-2343-3147
川島 お囃子会	川島地区	“かわしま燦々夏まつり”での演奏とそれに向けた練習	代表 池田さん LINE ID : chitianda

もちろん、各務原太鼓保存会へのご連絡も大歓迎です！！  
各務原太鼓保存会 実行委員長 早川 090-7864-5680

早川LINE

-\*

**事業成果**

- 和太鼓に触れる機会のない子供達が、和太鼓に興味を持つきっかけを作ることができた。
- 体験会ではなく作曲のワークショップにして、何度も参加頂いた事で、一時的な興味ではなく、またやりたいと思ってもらえる事業にできたと感じている。
- 自分達が作曲に携わった曲を聴いてもらったことで、参加した子供達だけではなく、保護者の方からも、「和太鼓を身近に感じた」とコメントを頂いた。
- 市内の和太鼓団体の方と繋がり、和太鼓に興味を持った子供達の受け皿を広くご紹介する事が出来るようになった。
- 各務原太鼓保存会の活動が、市内の伝統行事を保存している団体の方々の活動に直接的に関わる事が出来るようになった。

**収支報告** 事業費総額 377,550円 / 助成金交付確定額 110,000円

**助成経費内容** 練習会場費、太鼓の皮の張替え



## 助成事業名 おいしく食べていっぱい遊ぼう事業（まちづくり助成2年目：結愛ポート）

**事業概要** 身体にも心にも美味しく優しいものを「美味しい！」と食べて、やりたいことを「楽しい！」と思う存分やる。そんな当たり前のことを経験させてあげられる日をつくれます。

### 実施内容

#### <事業内容の変更>

受動的になりがち子どもたちが物事に能動的に関わることができるよう後押しする活動の一環で、独自イベント「にこにこフェス」の開催を最終目標にしていたが、予定と同時期同工エリアで、同じ課題をテーマに子どもたちを募る大規模イベント（gifu teacher's labo 主催の「あそぼっけ・まなぼっけ」）が開催されることになり、自団体での開催を取りやめ、こうしたイベントに子どもたちが自主的に関わることを後押しする事業に変更した。

#### 1. 実施方法

【当初】にこにこフェスの開催を通じて子どもたちの挑戦する気持ちを後押しする。

→ 【変更後】定期的に開放日を設け、小規模ワークショップや調理、野菜作りなどを行い、子どもたちの挑戦する気持ちを後押しする。にこにこフェスの代わりに「あそぼっけ・まなぼっけ」に挑戦する参加者を見守り、支援する。

#### 2. 経費項目

- (1) 当初、総事業費 266,792 円の予算を見込んだが、実施方法の変更に伴い、イベント用のワークショップ材料・食材、チラシ・看板・大判印刷・スタンプカード印刷、施設使用および発電機の購入を取りやめ、総事業費 26,809 円に変更。
- (2) 保険料について、活動が通年となり、対象期間を超えて加入することとなるため、助成対象経費から削除した。（事業外経費として、団体の自己資金で加入）
- (3) 対象外経費の食糧費について、協力者からの寄附で賄うことができるようになったため、削除した。



#### 「おひさま開放日」の開催

日時：毎月第1日曜日 11:00~14:00  
 場所：おひさまのおうち（蘇原申子町 1-41-2）  
 延べ参加人数：159 人（全 15 回）

定期的な開放日を設け、参加者が取組んでみたいと声を上げた様々な活動に挑戦した。その中で、以下の日については参加者の希望でテーマが設定され、イベントとして普段参加には至っていない住民にも参加してもらえるよう、SNS を中心に呼びかけを行った。

- 5/5 夏野菜の苗植え
- 5/5 タコパ
- 6/9 サツマイモの苗植え
- 8/1 折り紙、積み木、バルーンアートなどに挑戦
- 8/8 廃油石けんづくり
- 8/15 人参の種まき
- 8/22 流しそうめん
- 10/19 「あそぼっけ・まなぼっけ」への参加（事業外）
- 11/3 お芋ほり
- 12/10 だいこん狩り
- 12/13 ぼかしづくり 柚子胡椒づくり
- 1/3 お餅つき
- 1/6 たくあんづくり
- 2/7 紫雲膏づくり
- 2/10 大根の焼酎漬け

-\*

### 事業成果

- 学校から離れたところで小さな成功体験を積み重ねる場として、準備段階から一緒に取り組むことができる場を用意し、参加者の子どもや保護者に、他者と深いかかわりを持つ場、自己発信ができる場として活用していただくことができた。
- 1年前と比較し、「こんなことやってみたい」と言いやすいコミュニティに成長した、という実感があつた。

**収支報告** 事業費総額 26,809 円 / 助成金交付確定額 8,000 円

**助成経費内容** ワークショップ材料費、消耗品費、苗、肥料（菜種かす、蟹殻など）





## 助成事業名 各務原映画祭事業 (まちづくり助成2年目：各務原映画祭実行委員会)

**事業概要** 地域に根差した映像(まちおこし映画)を制作する団体に呼びかけ、各務原市内で映画祭を開催することで、各務原の魅力発信に繋げる。

### 実施内容



#### 1. 作品募集、作品選出、

- ・前回参加した映画関係者に作品募集を告知。
- ・作品選定チームのリーサーチにより候補作品を推薦。
- ・募集要項をウェブ掲載し、応募専用フォームを開設。
- 群馬県から熊本県まで9県12地域から13作品のラインナップを決定。

#### 2. 上映会周知

- ・ウェブサイトリニューアル、上映作品とスケジュールを公開。
- ・チラシ8,000部を、市内・市外・県外施設などで配布。
- ・たんとん12月号に有料広告掲載。
- ・地元新聞社にプレスリリース→2社掲載。

#### 3. 上映会開催(あすかホール)

開催日：12/22(日) 12:00~18:30

来場者：279名(一般245名、出品者13名、スタッフ21名)

- 内容：入場無料で4部に分け13作品を上映。  
各上映作品関係者によるトークライブ、  
市内撮影作品・ロケ地紹介パネル展示を同時開催した。  
入退場をチケット制とし予約可能な枠も設けた。

#### 4. 交流会開催(産業文化センター2-4会議室)

開催日：12/22 19:00~21:00

参加者：29名(出品者10名、スタッフ19名)

感想・意見：

- 「賞がない映画祭だから気軽に上映できる」
- 「地方映画祭でこれだけの来場があるのは珍しい」など

#### 5. フィードバック・反省会(那加西福祉センター)

開催日：12/27 19:00~21:00

参加者：13名

- 内容：アンケート集計を実施、次年度課題を共有した。

\*\*\*\*\*

### 事業成果

アンケート結果：満足86%、市外県外49%、2回目参加：32%

「見慣れた街が新鮮な風景に見えた」

「今回の映画祭で各務原市を初めて知った。名古屋から近いことも分かったので、観光名所をもっと勉強したい」

「2回とも参加し、まちおこし映画ならではの良さが観られるので、今後も定期的に開催して欲しい」などの声を得られた。

多様な人材がまちづくりに参画できるように地方創生の鍵となる「関係人口」の創出と拡大を地域課題として提起したことに対し、

- ① 映画祭運営の窓口を広げることで、20代~80代の37名がスタッフに加わった。  
映画祭の開催趣旨に共感した俳優の津田寛治氏がスペシャルゲストとして来場した。
- ② 群馬県から熊本県まで9県12地域から13作品を上映した。制作に関わった人々のトークライブを実施し、作品に込めた思いや地元の魅力などをPRする機会を提供した。
- ③ 入場料無料や入退場を自由にしたことで、気軽に来場できる雰囲気を作った。  
商業映画とは異なる地域映画の魅力を伝え、市民が新たな映像文化に触れる機会を提供できた。
- ④ 市内で制作された映像作品のロケ地をパネルで紹介し、舞台となった施設や名所の観光パンフレットを設置したことで、興味を持っていただけた。

**収支報告** 事業費総額 528,964円 / 助成金交付確定額 150,000円

**助成経費内容** 機材レンタル料、広告掲載料、アンバサダー交通費、上映作品提供謝礼、司会謝礼、会場使用料、チラシ制作費・印刷費、パンフレット制作費・印刷費、消耗品、保険料

# 令和7年度交付事業

令和7年度は、以下の13事業が交付決定しました。

スタート助成1年目(No.1~6)			
No	事業名	分野	団体名
1	ホテル保護区 PR による 自然環境改善事業	環境の保全 まちづくりの推進	南町ホテルの会
2	ミドルシニアのキャリア形成事業	職業能力の開発、雇用 機会の拡充	一般社団法人 ビーエルエス協会
3	かけはしプロジェクト事業	子どもの健全育成	Star Ray (スターレイ)
4	吉新盆踊り事業	まちづくりの推進、 子どもの健全育成	吉新ふれあい隊
5	イベント情報交換・交流会事業	まちづくりの推進、 NPO団体の運営、連 絡、助言、援助	もーやっこサークル
6	HINADORI プロジェクト:自然と地域 をつなぐツリーハウスづくり事業	環境の保全、 社会教育の推進	HINADORI プロジェクト 協議会
スタート助成2年目(No.7)			
7	各務原狂言囃子の会事業	学術、文化、芸術又はス ポーツの振興	船出の会
まちづくり助成1年目(No.8~12)			
8	低未利用地の有効利用を考える (実証実験)事業	まちづくりの推進	耀く大野町まちづくり委員会
9	舟やまを通じた世代間コミュニケーショ ンの活性化と伝統行事の継承事業	まちづくりの推進、 芸術、文化、芸術または スポーツの振興	かわしま川祭り運営委員会
10	学校企画展事業	芸術、文化、芸術または スポーツの振興、 まちづくりの推進	中山道鶉沼宿 ボランティアガイドの会
11	プロ選手とボランティアによる 子どもスポーツ参加促進事業	芸術、文化、芸術または スポーツの振興、 子どもの健全育成	野球夢道プロジェクト
12	ライフプラス 50 ~働く世代の健康促進事業~	保険、医療または福祉 の増進	一般社団法人健康応援隊
まちづくり助成2年目(No.13)			
13	写真展「鶉沼」-空中歩道・鶉沼地区の 活性化を目指して事業	まちづくりの推進	住みよいまちづくりを 考える会

令和7年度事業の様子は、随時、「令和7年度交付事業取材レポート」でお知らせします。

市ウェブサイト <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/> から

ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動  
> まちづくり活動助成金 > 令和7年度助成交付事業 > 令和7年度交付事業取材レポート

